

子どもの花粉症が年々増えてきています。子どもの花粉症発症を見逃さず、早い対処をしてあげましょう。子どもが花粉症になった場合、自分自身で対策ができないので家族みんなが気を配り、対処していくことが大切になります。早めにお医者さんに連れて行き、きちんとした治療を受けましょう。子どもは自分で症状をうまく伝えることができないので、親の観察が重要になってきます。

「くしゃみ」より「鼻づまり」が主な症状

子どもの場合くしゃみがあまり出ずに、鼻づまりが多い傾向にあります。

大人はサラサラ、子どもは少し粘っこい鼻水

風邪と見間違えてしまうかもしれませんが、鼻水が出ていたら花粉症も疑いましょう。

目の症状も高い率で発現

頻繁に目のあたりをこすったり、目の充血や目のまわりのむくみ等もよくみられます。

家族みんなで花粉から子どもを守ろう

家族が帰宅したときは、家の中に花粉を持ち込まないよう玄関でよくはらうことを習慣づけましょう。家族一人ひとりが協力して、子どもを花粉から遠ざけてあげましょう。

花粉症になったら早めにお医者さんへ

子どもの花粉症は、気管支喘息やアトピー性皮膚炎などの他のアレルギー疾患との関わりがあることもあります。

子どもに点眼する場合のアドバイス

●基本的な点眼方法

膝枕などをして、点眼に対しての恐怖感を取り除いてあげることが重要です。

●目をつぶってしまう場合の点眼方法

目のまわりを拭いてから、目頭付近に点眼し、まばたきをさせて薬を目の中に入れましょう。

[注意]泣いている最中は点眼を避けましょう！